

アンケート調査票（設問）

札幌市

市民自治に関する市民アンケート調査票

あなたのご意見をお聞かせください。

札幌市は、厳しい財政状況の中、子育てや福祉、雇用などさまざまな課題に対処していかなければなりません。快適に暮らせるまち「札幌」を創り出すためには、市民の皆さまが市政に意見し、みんなで行動していくことが必要となります。

札幌市は、市民の皆さまと情報を共有し、市政に積極的に参加していただけるよう努めていますが、市民の皆さまにとってより参加しやすい環境を整えるため、「どのような情報発信が望まれているのか」「より市政に参加していただくためにはどうしたらいいのか」などを把握させていただき、検討を進めることといたしました。

将来にわたって快適に暮らせるまち「札幌」を創り出すためにも、突然のお願いで恐縮ではありますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

◆ アンケート概要

1. このアンケート調査は、18歳以上の札幌市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で5,000名を選び、調査票を送らせていただいております。
2. 無記名でお答えいただきますので、個人のお名前が公表されることはありません。
3. 調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用しません。

◆ 記入上のご注意

1. あて名の方ご本人が、お答えください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで、当てはまるものの番号などに、はっきりと「○（マル）」をつけてください。
(質問ごとにお答えの数を「1つ」「3つまで」「いくつでも」など指定しておりますので、それに従いお答えください。)
3. 選択肢の順番、数字（①、②など）は、データ処理のためにつけているものですので、お答えには関係ありません。

◆ 調査票の回収

記入された調査票は、ご記入後、2月1日（月）までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

お問い合わせ先

札幌市役所 市民まちづくり局 市民自治推進室

市民自治推進課 市民自治推進係 担当 小澤・加藤

電話：011-211-2253 FAX：011-218-5156

E-mail：shiminijichi@city.sapporo.jp

はじめに

市民の皆さまがより安全に安心して快適に暮らせる札幌をつくるためには、このまちを一番知っている市民一人ひとりがまちづくり【*1】に参加し、「自分たちのことは、みんなで考え、話し合い、みんなの力で解決していく。」という『市民が主役のまちづくり』が大切です。

札幌市では、平成19年4月に「札幌市自治基本条例」を施行し、この条例を「市民が主役のまちづくり」を進めるための基本ルールとして位置づけました。

この条例では、市民の皆さまと一緒にまちづくりを進める重要なポイントとして、「情報共有」と「市民参加(市政への参加、身近な地域のまちづくりへの参加)」を挙げています。



詳しくは、市役所、区役所、お近くのまちづくりセンターなどにあるパンフレットをご覧ください。

情報共有

「市ではどのようなことが行われているのか。」などまちづくりに必要な情報をみんなで共有することです。

市民参加

○市政への参加

—市の政策などに、意見や提案を出すなど市政に積極的に参加していくことです。

○身近な地域のまちづくりへの参加

—町内会を中心に行われている地域をより良くしていく活動に積極的に参加していくことです。

札幌市は、自治基本条例の理念のもと、よりわかりやすく、使いやすい情報を発信し市民の皆さまと情報共有を進めるとともに、市民が市政やまちづくりに参加しやすい環境を創出するため、市民の皆さまのご意見をいただき、検討を進めています。

できる限り多くの皆さまの声を反映させていきたいと考えておりますので、ご多忙のこととは存じますが、是非、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【*1】「まちづくり」とは…

誰もが快適に暮らせるようにするための活動のことです。地域の清掃や花植えなど市民一人ひとりが力を合わせて、暮らしやすいまちをつくるという活動も、道路や建物、公園などの施設の整備も「まちづくり」です。

I 市政やまちづくりの情報についておたずねします。

札幌市では、市民の皆さまが情報を受け取りやすいように、さまざまな手法で市政やまちづくりの情報を提供しています。



「広報さっぽろ」やパンフレットによる情報提供



インターネットによる情報提供

TVH「ウォッチング札幌」

毎週水曜 22:54～



STV「札幌ふるさと再発見」

毎週土曜 11:54～



UHB「いいこと聞いた」

第2・4日曜 8:55～



テレビやラジオの「広報番組」による情報提供

質問 1

あなたは、札幌市が発信している情報（パンフレットやインターネット、広報番組など）について、わかりやすいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ 選び○をつけてください。

- ① わかりやすい
- ② どちらかといえば、わかりやすい
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかといえば、わかりにくい
- ⑤ わかりにくい
- ⑥ 情報を見ていない（聞いていない）ので、わからない

質問2

あなたは、札幌市が発信している情報の量について、どのようにお考えですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 多い
- ② やや多い
- ③ 適切
- ④ やや少ない
- ⑤ 少ない

質問3

あなたは、札幌市が発信している市政やまちづくりに関する情報を普段どこから得ていますか。よく見て（聞いて）いるものを3つまで選び○をつけてください。

また、今後札幌市が、あなたに情報を発信する上で、より内容を充実させてほしいと考えるものを3つまで選び○をつけてください。

	よく見て（聞いて） いるもの	より内容を充実さ せてほしいもの
【例】 広報さっぽろ	○	○
① 広報さっぽろ		
② ホームページ		
③ メールマガジン		
④ リーフレット、パンフレット		
⑤ 区役所、まちづくりセンターなどの掲示		
⑥ 市政広報番組（テレビ番組やラジオ放送）		
⑦ 報道機関（新聞やニュース）からの情報提供		
⑧ 出前講座【*2】		
⑨ 説明会		
⑩ 地域の回覧版		
⑪ その他（具体的に)		

*2 「出前講座」とは、市民の皆さまへの情報提供と対話の一環として、札幌市職員が市民の皆さまのご要望に応じて地域に出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明を行うものです。

質問4

札幌市からの情報発信の方法について、より満足していただくためには、あなたはどのような改善が必要だと思いますか。改善が必要と思われる事柄を3つまで選び○を付けてください。

- ① より早く情報を発信してほしい
- ② 今以上に細かい情報発信をしてほしい
- ③ 生活に関係があるような重要な情報だけを発信してほしい
- ④ 目につくように、いろいろな媒体で情報を発信してほしい
- ⑤ よりわかりやすく情報を発信してほしい
- ⑥ 情報をしっかり整理して発信してほしい
- ⑦ その他

(具体的にご記入ください)

質問5

札幌市が発信する情報の中で、あなたにとって興味のある事柄は何ですか。興味のある順番に3つを選び、下の回答欄に番号を記入してください。

- ① 職員の削減や財政の見直しといった市政運営に関すること
- ② 市の予算やその使われ方
- ③ 市の主要な計画やその進み具合
- ④ 医療、福祉や健康に関すること
- ⑤ 生涯学習に関すること
- ⑥ 子育てに関すること
- ⑦ 環境に関すること
- ⑧ 地域のまちづくりに関すること
- ⑨ 教育に関すること
- ⑩ 市民参加に関すること
- ⑪ 各種手続きの窓口やその方法
- ⑫ 市や地域でのイベントなどの催し物
- ⑬ 地震や水害などの防災対策
- ⑭ 公共施設の紹介
- ⑮ 市議会に関すること
- ⑯ その他 (具体的にご記入ください)

※ 興味のある順番に回答してください。

1番目	2番目	3番目

II 市政への参加についておたずねします。

札幌市では、市民の皆さまのご意見を市の仕事(政策や事業など)に反映するため、公募委員の募集やパブリックコメントなど、さまざまな手法で市政への参加を進めています。

主な市政への参加の手法としては、以下のようなものがあります。

A) 電話やメールなどによる意見提出

電話やメールなどで市役所に意見や提言を行うもの

※札幌市のホームページでは、市役所や区役所への意見を提案できる「インターネット市政提案」を実施しております。

(インターネット市政提案のホームページ

→ <http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/prop/>)

B) パブリックコメント(市民意見公募)

条例や計画など市の重要な政策の策定にあたり、市が作成した素案をホームページや冊子で一定期間公表し、市民の皆さまからメールやお手紙で意見をいただくもの



C) シンポジウム

一つの問題に対してそれを解決するために、意見の異なる数人の専門家を招き、それぞれの意見を聞いた後で、それについて参加者が質問したり、意見を発表したりする公開討論会

D) フォーラム

あるテーマに対して大勢の出席者が参加して行う集团的公開討論会

E) ワークショップ(研究集会)

あるテーマについて、比較的少人数のさまざまな人たちが集まって話し合い、意見や提案をまとめていく会合



F) 意見交換会

あるテーマに対して多くの市民の方に集まっていただき、市民と市役所が直接向かい合って意見交換を行うもの

質問6

あなたは、札幌市の市政に関心がありますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 大変関心がある
- ② まあまあ関心がある
- ③ あまり関心がない
- ④ 全く関心がない

質問7

札幌市は、市政への参加の機会が多い方だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 多いと思う
- ② どちらかといえば多いと思う
- ③ どちらかといえば少ないと思う
- ④ 少ないと思う

質問8

あなたは、これまでに市政に参加した経験がありますか。経験がある方は、①～⑨の中で、参加した方法をすべて選んで○をつけてください。

また、経験がない方は⑩に○をつけてください。

- ① 電話や来訪での提言・意見提出
- ② 電子メールでの提言・意見提出
- ③ 市長や区役所あての手紙での提言・意見提出
- ④ シンポジウムやフォーラムへの参加
- ⑤ パブリックコメントによる意見提出
- ⑥ ワークショップ（研究集会）への参加
- ⑦ 説明会や意見交換会への参加
- ⑧ 委員会や審議会などの公募委員
- ⑨ その他

（具体的にご記入ください）

- ⑩ いずれも経験がない（⑩に○をつけた方は、質問10へお進みください）

質問9

《質問8で①～⑨のいずれかに○をつけた方のみ、お答えください。》

去年1年間、あなたは、札幌市に対しどのくらい意見や提言を行いましたか。あてはまるものを1つ選び○をつけてください。

- ① 1～3回
- ② 4～6回
- ③ 7～9回
- ④ 10回以上
- ⑤ 去年は意見や提案をしていない

質問10

あなたは、今後、市政に参加したいと思いませんか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 積極的に参加したい
 - ② 時間があれば参加したい
 - ③ 興味のある分野であれば参加したい
 - ④ これからも参加したいと思わない
- } 質問11の(1)へ
・・・質問11の(2)へ

質問 1 1

《質問 1 0 で①～③と答えた方は（1）を、④と答えた方は（2）をお答えください。》

（1）あなたが参加するとすれば、どのような方法で参加したいと思いますか。
参加したいと思う順番に3つを選び、下の回答欄に番号を記入してください。

- ① 電話や来訪での提言・意見提出
- ② 電子メールでの提言・意見提出
- ③ 市長や区役所あての手紙での提言・意見提出
- ④ シンポジウムやフォーラムへの参加
- ⑤ パブリックコメントによる意見提出
- ⑥ ワークショップ（研究集会）への参加
- ⑦ 説明会や意見交換会への参加
- ⑧ 委員会や審議会などの公募委員
- ⑨ その他

（具体的に記入ください）

※ 参加したいと思う順番に回答してください。

1番目	2番目	3番目

(2) 「これからも参加したいと思わない」理由は、具体的に何ですか。次の中であてはまると思う順番に3つを選び、**下の回答欄**に番号を記入してください。

- ① 参加する時間がないから
- ② 参加したいと思うテーマがないから
- ③ 参加することに興味が持てないから
- ④ 参加することに家族や会社など周囲の理解を得られないから
- ⑤ 市政に参加する機会の情報を得ることが面倒だから
- ⑥ 市民が市政への参加すること自体が必要だと思えないから
- ⑦ 特に市政に対する意見が見当たらないから
- ⑧ その他 (具体的にご記入ください)

※ あてはまると思う順番に回答してください。

1番目	2番目	3番目

質問12

あなたは、札幌市において市政への市民参加が進んでいると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 思う
- ② どちらかといえばそう思う
- ③ どちらともいえない
- ④ どちらかといえばそう思わない
- ⑤ 思わない

質問 1 3

札幌市では、公園の整備や地域の除雪の方法などで市民の皆さまのご意見をいただき、できる限り快適に暮らせるよう事業の運営に努めているところですが、あなたは、市民の意見が市政やまちづくりに反映されていると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① よく反映されている
- ② まあまあ反映されている
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり反映されていない
- ⑤ 全く反映されていない

質問 1 4

札幌市において、より市政への市民参加を進めるためには、あなたは何が一番必要だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① より情報を発信して、参加する機会を適切に周知する
- ② 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する
- ③ 誰でも気軽に参加できるように参加の方法を工夫する
- ④ 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める
- ⑤ 審議会・委員会などに公募委員を積極的に増やしていく
- ⑥ 市民の意見が事業などに反映された事例を公表し、市民参加の効果を紹介する
- ⑦ その他

[(具体的にご記入ください)]
---	---------------	---

Ⅲ 身近な地域のまちづくりについておたずねします。

ゴミステーションのマナーを守ったり、ゴミ分別の徹底、近所の清掃活動、防犯パトロール、近所の道路の除雪…など町内会を中心とした「地域のまちづくり活動」は、市民みんなが快適な札幌をつくるための大切な活動です。

札幌市では、このような市民の皆さまのボランティアによるまちづくり活動を拡大させ、安全、安心、そして快適な札幌になるよう、まちづくり活動を積極的に応援しています。

家の前や近所の
清掃活動



除雪のお手伝い



ゴミステーションの
マナーを守る



地域の防犯活動



みんな大切な
まちづくり活動だよ



地域で木や花を
植える活動



地域のまちづくり活動のことなら、お近くのまちづくりセンターへ

身近な地域のまちづくり活動については、札幌市内 87 カ所にある「まちづくりセンター」で情報提供や活動の支援を行っています。

活動を始めたい方や地域のさまざまな活動団体を知りたい方は、お近くのまちづくりセンターまでご相談ください。



※まちづくりセンターの場所、連絡先はこちらをご覧ください。

http://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/machizukuri/machicen/machicen_02.html

質問 15

あなたは、身近な地域のまちづくりについて、どのようなことに関心がありますか。
あなたの関心があるものを3つまで選び○をつけてください。

- ① 防災や防犯、交通安全など地域の安全に関すること
- ② 地域のお祭り・イベントなど地域交流に関すること
- ③ 教育、子育て、保育など子どもの育成に関すること
- ④ 高齢者や障がい者への福祉に関すること
- ⑤ 医療や保健衛生など健康的な生活に関すること
- ⑥ ゴミの減量やCO²削減など環境に関すること
- ⑦ 生涯学習や文化芸術の振興など文化的な生活に関すること
- ⑧ 雇用や商店街活性化など地域経済に関すること
- ⑨ その他

(具体的にご記入ください)

質問 16

あなたは、身のまわり、または、ご近所で何か問題が起こったとき（例えば、ゴミステーションが汚れている、近所の高齢者が困っている、子育ての仲間がいない…など）には、その問題に対してどのように行動をとりますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 町内会・自治会に相談する
- ② 区役所、まちづくりセンターに相談する
- ③ 民生委員・児童委員に相談する
- ④ 地域のボランティア団体などに相談する
- ⑤ 市役所の市民相談窓口や担当窓口話す
- ⑥ 市議会議員に相談する
- ⑦ 自分の周りの人とともに、できそうなことをする
- ⑧ 特に何もしない
- ⑨ その他

(具体的にご記入ください)

質問 1 7

あなたは、これまでに「まちづくり活動【*3】」に参加したことがありますか。どちらか1つ選び○をつけてください。 なお、「まちづくり活動」の種類や期間などは問
いません。

*3 「まちづくり活動」とは、ゴミステーションのマナーを守ったり、ゴミ分別の徹底、近所の清掃活動、防犯パトロール、近所の道路の除雪、地域で木や花を植える活動…など快適なまちをつくるための活動のことです。



- ① ある (質問 1 8 へ)
- ② ない (質問 1 9 へ)

質問 1 8

《質問 1 7 で「① ある」と答えた方のみ、(1) と (2) をお答えください。》

(1) あなたは、どのような地域のまちづくり活動に参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 町内会での活動 (清掃活動や花壇の花植えなど)
- ② 個人での活動 (家庭・家族での実践)
- ③ 福祉のまち推進センターでの活動
- ④ 住民グループ (サークルなど) での活動
- ⑤ N P O での活動
- ⑥ 老人クラブでの活動
- ⑦ こども会での活動
- ⑧ ボランティア団体での活動
- ⑨ P T A での活動
- ⑩ 勤務先 (企業) での活動
- ⑪ その他

((具体的にご記入ください))

(2) あなたが地域のまちづくり活動に参加したきっかけ（もしくは理由）はどのようなことでしたか。次の中から、あてはまるものを3つまで選び○をつけてください。

- ① 町内会の回覧版
- ② 身近に問題が起きたから
- ③ 身近で活動している人を見聞きしたから
- ④ 近所の人との交流を図りたかったから
- ⑤ 人から勧められたから
- ⑥ 自分の経験や知識・技能を生かしたかったから
- ⑦ 自分自身のためになると思ったから
- ⑧ 社会や人のために何か役に立ちたかったから
- ⑨ 余暇を有意義に過ごしたかったから
- ⑩ ボランティアの研修や講習会、イベントに参加して楽しかったから
- ⑪ テレビや新聞、情報誌などを見て興味をもったから
- ⑫ その他 [(具体的にご記入ください)]

質問19

あなたは、どのような状況になれば地域のまちづくり活動に参加しますか。あなたにとって最も必要な条件となるものを1つ選び○をつけてください。

- ① 活動ができる時間の確保
- ② 生活や金銭面でのゆとり
- ③ 活動に対する周囲の理解
- ④ 活動を始めるきっかけ
- ⑤ 活動の情報が提供されること
- ⑥ 活動へのつなぎ（仲介）がされること
- ⑦ その他 [(具体的にご記入ください)]

質問 20

あなたは今後（または今後も）地域のまちづくり活動に参加したいと思いますか。
あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|----------------|
| ① 参加したい | } | (質問 21- (1) へ) |
| ② どちらかといえば参加したい | | |
| ③ どちらかといえば参加したくない | } | (質問 21- (2) へ) |
| ④ 参加したくない | | |

質問 21

≪質問 20 で「① 参加したい」あるいは「② どちらかと言えば参加したい」とお答えした方は (1) を、「③ どちらかと言えば参加したくない」あるいは「④ 参加したくない」とお答えした方は (2) をお答えください。≫

(1) あなたが地域のまちづくり活動に参加する場合、どのような活動に興味がありますか。特に興味のある活動を3つまで選び○をつけてください。

- ① 環境美化活動
- ② 健康づくり支援活動
- ③ 子どもの見守り活動
- ④ 高齢者の日常生活支援活動
- ⑤ 高齢者の交流支援活動
- ⑥ 雪割、除雪の手伝い活動
- ⑦ 防災活動
- ⑧ 歴史・文化の維持・保存活動
- ⑨ 犯罪防止活動
- ⑩ 交通事故防止活動
- ⑪ 文化芸術振興活動
- ⑫ 生涯学習支援活動
- ⑬ 子育て支援活動
- ⑭ 教育、育成活動
- ⑮ スポーツ振興活動
- ⑯ その他 [(具体的にご記入ください)]

(2) あなたが今後（または今後も）地域のまちづくり活動に参加したくないと思う理由は何ですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① 活動する時間がないから
- ② 生活や金銭面でゆとりがないから
- ③ 活動するのが面倒だから
- ④ 参加しなくても生活に支障がないから
- ⑤ 参加したいと思う活動がないから
- ⑥ 参加すること自体が必要だと思えないから
- ⑦ その他

（具体的にご記入ください）

質問22

あなたは地域のまちづくり活動に参加しづらいと感じる（感じた）ことがありますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

- ① ある（質問23へ）
- ② ない（質問24へ）

質問 2 3

《質問 2 2 で「① ある」とお答えした方にお聞きします。》

あなたにとって参加しづらいと感じる（感じた）理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- ① 忙しくて時間がない
- ② 健康や体力に自信がない
- ③ 経済的な余裕がない
- ④ 参加するほどの知識や技術がない
- ⑤ きっかけがつかめない
- ⑥ 家族の理解や協力が得られない
- ⑦ 人間関係が大変そう
- ⑧ 身近に一緒に活動する仲間がない
- ⑨ 活動に伴う責任が重荷になりそう
- ⑩ 活動している場所が遠い、あるいは交通が不便な場所にあるだから
- ⑪ 活動団体や活動に対する情報がない、内容がわからない
- ⑫ 関心が持てない
- ⑬ その他

（具体的にご記入ください）

質問24

地域のまちづくり活動をより進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び○をつけてください。

- ① 活動の実施状況や、ボランティア募集などの情報が豊富に入手できる
- ② ボランティアの希望や時間など個々に合わせた調整をしてくれる拠点がある
- ③ 交通の便がよい、自宅の近くであるなど、行きやすい場所を紹介してもらえる
- ④ 近所の住民とふれあい、地域の仲間づくりができる地域の交流の場がある
- ⑤ ボランティア活動に関心がある人たちの情報交換・交流の場がある
- ⑥ 体験会や研修などからまちづくり活動を始められる機会が提供されている
- ⑦ 自分の趣味や特技が活かせる活動を紹介してもらえる
- ⑧ 参加者の年齢層や性別が、自分と一致している活動団体が見つけれられる
- ⑨ その他 { (具体的にご記入ください) }

質問 2 5

今後、より快適で住みよいまちをつくっていくためには、市役所の仕事以上に、きめ細かく地域の課題を解決できる地域の皆さまの活動が重要となります。

あなたは、地域自らが地域のさまざまな課題を解決していくためには、地域に何が必要だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを 1つ 選び○をつけてください。

- ① 町内会・自治会
- ② まちづくり協議会【*4】
- ③ 地域の誰もが参加できる話し合いの場
- ④ 活動の担い手
- ⑤ アドバイスしてくれる専門的な市民団体やNPO
- ⑥ いろいろな情報を提供してくれる札幌市の相談窓口
- ⑦ 地域のまちづくり活動を支援する仕組み
- ⑧ 地域の課題解決のための資金
- ⑨ その他

（具体的にご記入ください）

*4 まちづくり協議会とは

地域の団体や個人をゆるやかに結び、それぞれが独自性を活かしながら、地域の団体や個人が主体となって地域の課題を考え、共通の課題の解決や目標の実現に向けて行動する場のことです。

質問 2 6

ゴミステーションの清掃管理、除雪パートナーシップ制度による除排雪の実施、子どもの見守り、花壇の花植え、回覧版による地域情報のお知らせ…など身近な地域のまちづくり活動は、町内会が中心となって行っています。

あなたは、ご自分の住んでいる町内会がどのような活動をしているかご存じですか。あてはまるものを 1つ 選び○をつけてください。

- ① よく知っている
- ② 少し知っている
- ③ あまりよく知らない
- ④ 全く知らない

質問 27

最近では、地域のまちづくり活動の中心である町内会・自治会活動への参加者が少なくなってきたと言われていたりますが、なぜだと思えますか。あなたのお考えに最も近いものを 1つ 選び○をつけてください。

- ① どのような活動が行われているか情報が少ない
- ② 活動をしていない人には難しい活動に見える
- ③ 参加する機会が見当たらない
- ④ 活動する時間がない
- ⑤ その他

（具体的にご記入ください）

質問 28

あなた（あなたの世帯）は町内会に、加入していますか。あてはまるものを 1つ 選び○をつけてください。

- ① 加入している（次ページⅣへお進みください）
- ② 加入していない（質問 29へ）
- ③ わからない（次ページⅣへお進みください）

質問 29

《質問 28で「②加入していない」と答えた方のみお答えください。》

あなたが町内会に加入していない理由について、次の中からあてはまるものを 3つ まで選び○をつけてください。

- ① 加入するきっかけがないから
- ② 現状で日常生活に支障がないと思うから
- ③ 加入の仕方がわからないから
- ④ 多少なりとも近所付き合いがあると思ひ、わずらわしいから
- ⑤ 会費を支払いたくないから
- ⑥ 現在の町内会の活動や方針などが自分の考えに合わないから
- ⑦ その他

（具体的にご記入ください）

IV あなた自身のことについてお聞きします。

各項目（F1～F7）の選択肢の中から、あてはまるものに○をつけてください。
 ※F4の設問は、①は下線部に数字を、②はあてはまるものに○をつけてください。

選 択 肢			
F 1 : 性別	・ 男性	・ 女性	
F 2 : 年代	・ 10代	・ 20代	・ 30代
	・ 40代	・ 50代	・ 60代 ・ 70代以上
F 3 : 職業	・ 会社員、公務員	・ 自営業	
	・ パート	・ アルバイト	・ 家事専業
	・ 学生	・ 無職	・ その他
F 4 : 家族構成	① 世帯人数_____人（ご自身も含み同居されている方）		
	② ・ 自分1人、友人と同居などの単身世帯		
	・ 夫婦2人だけの1世代世帯		
	・ 親と子の2世代世帯		
	・ 親と子と孫の3世代世帯		
	・ その他		
F 5 : 住居形態	・ 一戸建て（賃貸含む）		
	・ 分譲マンション		
	・ 賃貸マンション・アパート（社宅など含む）		
	・ その他		
F 6 : 居住年数	・ 1年未満		
	・ 1～3年未満		
（※現在地の居住年数をお答えください。）	・ 3～10年未満		
	・ 10～20年未満		
	・ 20～30年未満		
	・ 30年以上		
F 7 : 居住区	・ 中央区	・ 北区	・ 東区
	・ 白石区	・ 厚別区	・ 豊平区
	・ 清田区	・ 南区	・ 西区 ・ 手稲区

ご協力ありがとうございました。

記入された調査票は、2月1日（月）までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

市民自治に関するアンケート調査実施報告書

平成 22 年 7 月発行

発行 札幌市役所 市民まちづくり局 市民自治推進室

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

電話 011-211-2253

E-mail:shiminjichi@city.sapporo.jp

市政等資料番号	01-F01-10-556
関係部局保存期間	1 年